



姫路城
世界遺産登録

30周年記念



①

②



③

①右版画花のたよりの文つかじ／大正2年
②木版画室の津／大正6年 ③木版画婦人クラコ／大正15年5月号表紙

特別展 大正ロマンの寵児

竹久夢一展

夢一の世界に
ひたる春

YUMEJI
TAKEHISA

2023
4/15(土) ⇒ 5/28(日)

会場／姫路文学館 北館

開館時間／午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)
※休館日／月曜日 ※ただし、5月1日(月)は開館

観覧料／一般700円、大学・高校生400円、中学・小学生200円
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方(手帳またはミライID手帳画面をご提示ください)及び介護者1人は半額。
※20名以上の団体は2割引 ※常設展示も観覧可

主催／姫路文学館
企画協力／株式会社港屋
後援／朝日新聞姫路支局、NHK神戸放送局、神戸新聞社、産経新聞社、サンテレビジョン、播磨時報社、播磨リビング新聞社、姫路ケーブルテレビ、姫路シティFM21、毎日新聞姫路支局、読売新聞姫路支局、ラジオ関西



姫路文学館
HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE

<http://www.himejibungakukan.jp/>



※コマ絵とは、文章と関連を持たない飾り絵のこと

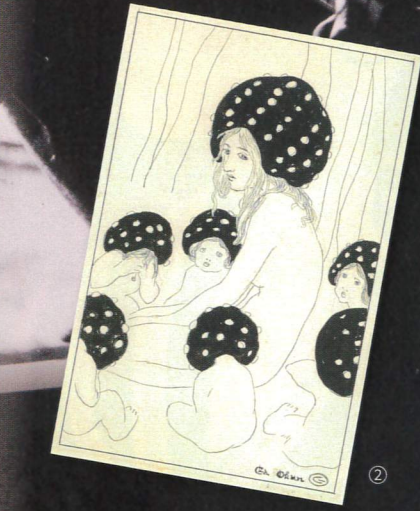
さらに詩や童話、童話、小説など憧れであった文学の世界にも活躍の場を広げた夢二。

明治42年(1909)、自らの絵に言葉を添えた初の著作『夢二画集 春の巻』を刊行すると大好評を博します。

愁いをたたえた「夢二式美人画」や抒情歌「宵待草」で一世を風靡した画家・詩人の竹久夢二。



ある時ふと詩の替りに画で自分の心を語ろうとした。「私の投書家時代」



竹久 夢二 たけひさ ゆめじ 明治17年~昭和9年(1884~1934)

現・岡山県瀬戸内市邑久町に生れる。本名、茂次郎。明治32年(1899)、神戸市の叔父宅から神戸尋常中学校(現兵庫県立神戸高校)に入学するも家の都合で中退。

①マンドリンを弾く夢二/明治43年 ②肉筆ペン画「紅苺の母子」/大正2年 ③肉筆画「青いかんざし」(部分)/大正中期 ④千代紙「大椿」(部分)/大正3年 ⑤肉筆軸「室の津」(部分)/大正中期 ⑥石版画「五月の夜」(部分)/明治45年 ⑦晩年の夢二/昭和初期

記念イベント 会場/姫路文学館講堂(北館3階)

講演会

「詩人になりたかった夢二 一大正ロマンに彩られた美と言葉を追って」
●日時/4月15日(土) 午後1時30分~3時(開場:1時)
●講師/石川桂子(竹久夢二美術館学芸員)
●定員/100名(要展覧会観覧券[使用済券可]・当日先着順)

講演会「竹久夢二 絵と文学の出会い」

●日時/4月29日(土)午後1時30分~3時(開場:1時)
●講師/木股知史(甲南大学名誉教授)
●定員/100名(要展覧会観覧券[使用済券可]・当日先着順)

展示解説会

●日時/5月6日(土)午後1時30分~3時(開場:1時)
●講師/担当学芸員 ●定員/100名(無料・当日先着順)

先着プレゼント!!
和服でご来場の方、先着100名に夢二のポストカードをプレゼントします。



姫路文学館 HIMEJI CITY MUSEUM OF LITERATURE
〒670-0021 姫路市山野井町84番地
TEL.079-293-8228
http://www.himejibungakukan.jp/

特別企画展 「姫路市立美術館開館40周年記念 春の祭典」
4月22日(土)~6月25日(日)
姫路市立美術館 079-222-2288

春季特別展 「生誕100年・最後の抒情画家 藤井千秋展」
4月15日(土)~7月9日(日)
美術工芸館 079-267-0301

アクセス
●JR山陽電鉄姫路駅より徒歩9分
●バス(市之橋文学館前)下車、北へ徒歩4分

QRを読み込んで簡単アクセス
他館イベントのご案内
ご来館の際の注意
●展示会場の混雑を緩和するため、入場規制を行う場合があります。